

# 防災の大切さ訴える

階上中  
菊田さん  
宮崎でシンポジウム

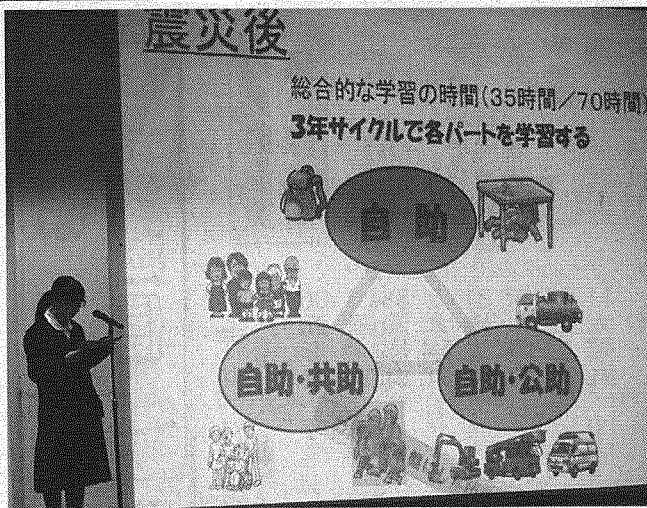
宮崎県東諸県郡綾町で開かれた「2040年の命に向けて」シンポジウムに、気仙沼市立階上中学校(小山弘基校長)が招待され、生徒会長の菊田和奏さん(2年)が宮崎や福岡の小中学生らと防災や環境について意見交換した。

招待は、昨年9月に階上中で開かれた日本ユネスコ協会連盟の減災教育研修に、綾中学校の猪野滋校長が出席し、生徒の発表や考え方に感銘を受けたことがきっかけ。

シンポジウムには、階上中と綾小、中のか、福岡県大牟田市立

の世代に素敵な地球、古里をプレゼントするためにどう生きるべきか」などを話し合った。

菊田さんは「万一の備えや、常に防災意識を持つことの大切さを伝えられたと思う。震災時は怖かった海も、今は穏やかで大切だと感じており、今後は海と共存できる生き方や、生徒会ができる取り組みを考えていきたい」と話した。



シンポジウムで発表する菊田さん

今後の課題として、古里の復興を考えることや、これから入学してくる生徒たちにも震災、防災を伝えて風化を防いでいくことを挙げた。他校は、「環境」をテーマに地域の環境維持・発展と観光などのまちづくりについて語った。

パネルディスカッションでは、地球や古里にとって「何を大切に考えるべきか」「次